

日本発イタリア便り～フィレンツェ見晴らし三昧～



中央駅からバスで20分、ミケランジェロ広場が見た風景。世界文化遺産にも登録されている旧市街の風景はいつまで眺めても飽きません。いつ見ても変わりなく、美しいです。その中にいるときは、結構な喧騒の中ですが、離れてみると静かで本当に絵を見ているような錯覚に陥ります。よくフィレンツェの街は「街全体が美術館のようだ」と表現されますが、本当にそんな感じです。



ちょっとうす曇でも明るい屋根の色が引き立って綺麗です！

フィレンツェでは、見晴らし三昧でした。これはドゥオモ(大聖堂)の隣にある、ジョットの鐘楼(Campanile)という塔ですが(なんでもこの塔の素晴らしさは、かのダンテの「神曲」の中でも語られているそう。)、なーんと、このてっぺんまで行ってきました！といってもエレベーターなんてものはないので、ひたすら階段を上るのです。階段の数は414段。もちろん上ればあとは下りないといけません。螺旋階段を下りるのが苦手な私は、普段なら、こんな塔に上ることはあんまりないのですが、今回は同行者に「上れる塔」とあらば、なんでも上りたい！という人がいましたので上ってきました。



414段の階段を一気にひたすら上る、というのではなく窓があるところが、2階・3階のようになっているので、座ってちょっと一息つきながら、外を眺めることができます。そして再度気合を入れて、さらに上っていくのです。2つ目の窓に到着するころには、地上のざわめきも遠のいてきて、不思議な静かさがありました。隣の大聖堂の大クーポラ(ここは途中までエレベーターあり。)ではなく、この鐘楼に上ったのは大正解でした。その理由は…。



はい。フィレンツェのシンボル、ドゥオモの大クーポラが近くに見えるから◎
装飾の一つ一つまで見えて、大迫力でした！

見ればみるほど「よくもまあ。作ったなあ・・・。」と思います。

もちろん、フィレンツェの街全景も、ミケランジェロ広場からよりも、もっと近くの風景を楽しめて、足の疲れも忘れて大興奮です！



フィレンツェの街並み。高さと色をそろえるだけでもこんなに綺麗なのに！
(なんで日本にはそんなこと考える人がいなかったのか！と言いたい！)
降りてくる途中で、だんだん日が暮れてきました。



どんどん暮れていきます。下りている途中で、急に塔の中の鐘が鳴り始めました。その音量と体に伝わってくる音の振動で螺旋階段の途中、本当にびっくりしてひっくり返りそうになりました。☺



日本で見る夕焼けも同じ太陽を見ているはずなんですが、フィレンツェの夕日は感動的に美しかったです。

見晴らし三昧のフィレンツェ、合計 828 段の上り下りのあとは、美味しいご飯と、翌日の筋肉痛が待っています。「フィレンツェ見晴らし三昧」は自分で歩いて、食べられるうちに是非どうぞ！素直に感動しますよ。